

平成 29 年度第 10 回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 平成 30 年 1 月 30 日（火） 18：30～19：30

【場 所】 厚田保健センター

【出席者】 13 人（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	築 田 敏 彦	○	委員	加 藤 亞 弓		委員	平 賀 敏 和	○
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	河 合 徳 秋	○	委員	三 浦 崇 史	○
委員	東 幸 子	○	委員	河 合 保 郎	○	委員	本 吉 俊 一	○
委員	大 内 さつき	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	森 田 瞳	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	今 光 江		委員	吉 村 貴 文	○

※正副会長を除き、あいうえお順

支 所 ～ 西田支所長・田村課長・相原主幹・小池主任社会福祉士
今野・野呂（地域おこし協力隊員）

事務局 ～ 高田地域振興課長・今田主査・川村主査
(地域振興課)

【傍聴者】 1 名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流（リラックス タイム）
 4. 協議事項
 5. 報告事項
 - ・厚田区住民アンケートについて（経過報告）
 - ・厚田区地域おこし協力隊の募集について（経過報告）
 - ・道の駅オープンに向けた取り組みについて
 - ・『厚田区あったかニュース』発行に向けて
 6. その他
 - ・生活支援体制整備事業について
 - ・『厚田区ウィンターレクフェスタ』のご案内

1. 開会

【（厚）地域振興課 高田課長】

開会の前に、今委員、加藤委員から欠席の連絡があったので報告する。

2. 会長挨拶

【築田会長】

悪天候により 1/25 の地域協議会が本日に延期になった。今日も悪天候の中、お集まり頂き感謝申し上げ

る。

3. 情報交流（リラックス タイム）

- ・ニシン漁の状況について（吉村委員）
- ・北海道農民管弦楽団の第九コンサートの見学（清水町）について（小山委員、東委員、今野隊員）

4. 協議事項

【 築田会長 】

今回の協議事項はなし。

5. 報告事項

厚田区住民アンケートについて

【（厚）地域振興課 今田主査】

年明けから地区毎に調査票の配布が進められている。スケジュールについては、2 月末までの回収、3 月以降より集計解析、4 月以降より結果公表となっている。集計結果から、アンケート会議で今後の方向性を検討し、地域協議会とも共有していく。

【 築田会長 】

回収状況はどうか。

【（厚）地域振興課 今田主査】

地区ごとに担当者を決め、回収している。町内会の集まりなどで回収しているところもあり、方法はいろいろなので、時間差は出てくる。支所職員もサポーターとして各地区に入って進めている。

【 築田会長 】

市企画課の実施するアンケート（市民意識に関するアンケート調査）も重複していると聞いている。厚田区住民アンケートは2 月末までに回収となっているので、引き続きご協力お願いしたい。

厚田区地域おこし協力隊の募集について

【（厚）地域振興課 川村主査】

12 月の地域協議会で承認いただいた平成 30 年度採用の厚田区地域おこし協力隊について、現在、広報している。周知先としては、地域おこし協力隊全国ネットワークのホームページに掲載依頼のほか、自然保護・環境保全の NPO 団体、道内の博物館やネイチャーセンター、フォーラム等でチラシ配布やメールでの情報配信を行っている。募集期間は2 月いっぱいとなっている。1 次選考は書類審査のみで要件を満たしていれば面接での2 次選考となる。面接の選考委員について、協力隊検討委員会の中で、「市長が必要と認めた者」に自然の専門知識を有する人をお願いすることが決まり、検討委員でもある「あつたの森支援の会やまどり」の小林さんになって頂くことになった。山の分野は小林さんをお願いし、海の分野は「いしかり海辺ファンクラブ」から1 名お願いすることとなった。また、地域協議会から推薦する委員としては、検討委員でもある築田会長をお願いすることとなっている。

【 築田会長 】

意見がなければこのとおり進める。 （意見なし）

【（厚）地域振興課 川村主査】

あわせて、今野隊員、野呂隊員の活動報告会について案内する。3/11（日）10 時より厚田保健センターにて今年度の活動報告を予定している。詳細については次回の地域協議会で報告させて頂く。

道の駅オープンに向けた取り組みについて

【（厚）地域振興課 高田課長】

道の駅のオープン日が4/27（金）に決定し、店舗名が入った新しいパンフレットも発行された。必要部数があれば委員の皆さんにお渡しする。また、道の駅オープンまでに4 つの事業が計画されている。

1 つ目は施設内覧会で、3/27（火）と3/28（水）を予定している。対象者は議員、職員、地域住民、福祉関係者、産業団体等の参加を想定している。2 つ目はモニターツアーで、4/19（木）20 日（金）22 日（日）24 日（火）の4 日間を予定しており、1 日 400 名限定、4 日間で合計 1600 名の市民を対象としている。い

わばプレオープン的に入場体験して頂き、アンケートなどに答えて頂く事業で、モニターツアーへの参加については、石狩市民限定でこれから参加者を募る予定。3つ目はオープン前日の4/26（木）にテープカットを伴う式典を行う予定。4つ目は、4/21（土）に道の駅オープンを祝う「区民イベント」が予定されている。道の駅石狩「あいろーど厚田」の売りは「夕日」「景観」なので、夕方から開催し、夕日の沈む頃に終了という時間帯で計画している。区民イベントについては地域協議会から会長、副会長、自治連合会から5連の会長が集まり、「準備会」を立ちあげて、開催について決定している。まずは区民に道の駅の良さを知って頂き、地元から区内外へPRして頂くことを狙いとしているイベントとなる。参加者は、厚田区民70名 浜益区民20名 来賓10名の約100人規模で、実行委員会でオープンを祝う区民イベントを検討していく。

『厚田区あったかニュース』発行に向けて

【（厚）地域振興課 今田主査】

前回の地域協議会で、半年に1回ニュースを発行していくことが決まり、編集委員に加藤委員、森田委員、吉村委員にお願いすることとなった。次回発行の5月に向け、内容構成等、検討開始していく。

6. その他

生活支援体制整備事業について

【（厚）地域振興課 小池主任社会福祉士】

少子高齢化で厚田区民が年齢を重ねても安心して暮らし続けられる地域をつくっていくために住民による地域での支え合いが重要になってくる。実際に、どのような地域づくりが必要であるかについて、地域課題について協議している委員の皆様にも国の方針も交えてお話しさせて頂く。

日本はどの国よりも超高齢社会を迎えていて、2025年以降を皮切りに団塊の世代が75歳以上に続々と突入し、社会の変化に伴いながら、住み慣れた自宅で暮らし続けるということは、独居や老老介護・近所関係の希薄化など様々な問題が出てくる。

しかし、少子高齢化の影響で高齢者が増える一方、医療や介護施設、介護人材などの地域資源が不足していく。国の方針としては、2025年を目途に高齢や障がいを抱えても、住み慣れた地域で暮らすことができるように、医療・介護・住まい・介護予防・生活支援が一体になり、支え合いながら地域に住み続けることが出来る地域づくりをしていこうということになっている。治療が必要であれば医療ケアや介護のサポートも必要になってくる。また、皆が健康で介護を受けずに生活できることにも取り組まなければならない。国は介護予防と住民同士の支え合いといった地域づくりに重点を置いている。その課題解決の調整役として、生活支援コーディネーターの私が厚田に配置され、住民の皆様と話し合いながら一緒に方向性を決めていく必要がある。その話し合う場を「協議体」と呼び、生活上の困っている課題について話し合う場となる。

「協議体」の中で、外に出る機会を設けるような「孤立防止」だったり、ゴミ出しや認知症の方の見守等の「日常的な困りごと支援」、趣味や高齢者クラブ等の「社会的交流」、電話や訪問での「安否確認」、掃除・洗濯・お惣菜の差入れ等の「家事支援」など、色々な観点から検討できる。

次に活動展開について。国は介護予防に繋がる体操教室や知人とお茶のみのような交流の場を「通いの場」と呼んでいるが、通いの場へと繋いだり、場を創出することも考えられる。また、ゴミ出しや買い物など困っていることを助け合う方法もある。そして、支え手側も体を動かすことや社会的な役割を持つこととなり、介護予防に繋がる。今は厚田区住民アンケートの調査中で、そこから見えてくるニーズに対してどのような物をつくり出していかなければならないのか考えていく必要がある。

実際に厚田区での「通いの場」をいくつか紹介したい。

- ・厚田婦人会で保健師が認知症予防の話と脳の健康教室を行っている。
- ・介護予防として住民がトレーナーとなって週に1度、体操やストレッチを行っている。
- ・虹が原高齢者クラブ「虹寿会」では月に1度昼食会を行っている。
- ・保健センターでは、介護予防としてトレーナーによる転倒予防教室で軽い体操や運動を行っている。
- ・望来では保健師や地域ボランティアと一緒に毎月「いきいきハビリ望みの会」を行っている。

また、移動が大変な方に買い物ついでに食材を買って届けることや、お惣菜の差入れといった支え合いを既に実践している地域もあると聞いている。

最後に、国の進める「生活支援体制整備事業」について説明したが、目的は住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、住民同士の支え合いの地域づくりと介護予防が重要となる。厚田区にはライフサポートの会もあるが、地域協議会の皆さんと課題を共有して、よりよいまちづくりを進めていきたい。

『厚田区ウィンターレクフェスタ』の案内

【河合委員】

『厚田区コミュニティゆめ倶楽部』主催のウィンターレクフェスタが2/11（日）10時より旧厚田スキー場にて開催する。昨年は、まちづくり観光協議会と連携して『モニターツアー』を受入れ、「バナナポート」

や「ジャンボ滑り台」「スノーモービル体験」を区外の方々にも楽しんで頂いた。今年は、北大サークル「いなかっぺ」が2年ぶりに3度目の協力を頂くこととなっている。イベントでは「スキー回転競技」を始め、昨年好評だった「就学前の幼児を対象とした・親子でサイコロ、おやつGET!!」をはじめ、人間カーリング選手権、ちびっ子滑り台・チューブを使った100mのロング滑り台、さらには、人気のバナナボート・スノーモービル乗車体験など気軽に参加できるゲームなど盛りだくさんとなっている。また、午後からは豪華景品が当たる恒例の『雪中ビンゴ大会』も予定されており、お昼には「豚汁」「豚串」「ご飯」の『豚ちゃんセット』やホットミルク・ココア・コーヒーなど温かい食べ飲み物も販売提供する。

【 小山委員 】

ウィンターレクフェスタに日ハムの石狩応援大使は来ないのか？

【 地域おこし協力隊 今野隊員 】

日ハム選手は来ないが、今、厚田区民から日ハムへの応援ビデオメッセージを作ることになっている。イベント当日にそのメッセージビデオを撮影する予定で企画している。撮影した動画は3月2日に札幌パークホテルで約1,000名のファイターズ関係者を集め開催される決起集会で放映される予定。

望来小学校の現状について

【 (厚) 生涯学習課 田村課長 】

望来小学校は現在、全校児童が6名であるが、2名の転校により4名になる予定。この4月には新入生も入り5名でのスタートになるが、学年数の減少により、教員も減る見通し。まずは地域協でも情報共有させて頂く。

各委員から

【 東委員 】

嶺泊パーキングについて。駐車場には特に看板もないが、夕日を写真に撮る人や景色を楽しむ人が結構いる。厚田に移住してずっと感じていたが、とてもいいスポットだと思うので、看板等を設置してPRするのはどうか。知らずに通り過ぎていく人もいると思う。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

市道なので対応できる部分はあるかもしれない。そのような意見があったことを担当課に伝える。

支所から

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

ニュース・新聞等でご承知のことと思うが、今年に入ってから寒波により、1/28(日)から家庭内に引き込む水道管が凍結・破裂し、輪島市内全域(門前町含む)で断水となっている。お知らせまで。

○次回の日程について

平成30年2月22日(木) 18時30分～ 望来コミセン(みなくる)

平成30年2月22日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 築田 敏彦